

**事業所名** グループホーム ワカヤ・クラブ  
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成17年 9月28日

**評価機関名** ㈱東京リーガルマインド  
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

**評価調査員**  
A: 現職 看護師、介護支援専門員  
資格・経験 看護師(37年以上)、介護支援専門員  
B: 現職 民間教育機関講師  
資格・経験 介護支援専門員登録、**ヘルパー2級**、難病患者**ヘルパー**-研修終了

**自主評価結果を見る** (事業者の自主評価結果にリンクします)

**評価項目の内容を見る** (評価項目にリンクします)

**事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)**  
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	<p><b>グループホームとしてめざしているものは何か(記述)</b></p> <p>「その人らしく」「今までの生活の延長で」を最優先に考えた介護サービスの提供を心がけ、「人」を見つめ、「人」を思う気持ちをお互いに持ちながら、時間・空間・暮らしを共有し、一緒に歩んでいくことを理念としている。職員の入居者に接するときの態度からも、この理念が実践されていることが伺えた。相手を尊重する気持ちが自然ににじみ出ていることが印象的だった。</p> <p>開設者、管理者は、入居者の立場を常に自分の立場に置き換え、入居者の自立を目指し、入居者が何を望んでいるかを考え支援している。「その方にとっての真のニーズは何かを捉えて援助することがプロとしてのあり方である」と、職員個々が自覚して支援することを望んでいる。</p> <p>入居者を職員が、同等の立場で共に生活する家庭的な雰囲気作りに努めている。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	<p><b>入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)</b></p> <p>民家を改造した建物で、生活空間としての安らぎのスペースがある。共有スペースには、入居者が自由にくつろげるソファが設置しており、全体に落ち着いた感じで、「最良のおもてなしを」という開設者の心が隅々まで行き渡った居心地の良い空間であった。各居室には個人の好みの家具などが置かれ、入居者それぞれのこれまでの生活歴を尊重していた。</p> <p>食後、職員の弾くピアノの音に自然に入居者が集まり、昔懐かしい歌を歌っていた。入居者の楽しそうな笑顔に、職員と入居者が共に幸せな気分を感じられる場作りに努力されていることが感じられた。</p> <p>入居者が不安や帰宅願望を示したときは、職員は入居者個々の特徴を把握し、気持ちの安定が保てるよう配慮するなど、その方に寄り添った介護支援ができていた。入浴なども、午後の時間以外に入居者の希望にあわせて、夜間19時～21時に入れるなど、入居者のペースに合わせる工夫がされていた。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人のできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

外部評価の結果

**講評**

全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

四季折々の彩りを感じることのできる山々に囲まれた、静かな環境に立地している。洋風の2階建ての建物で、廊下や個室のドアは木を基調としている。どの部屋からも庭を眺められ、視覚的にも癒しが感じられる。

開設者は、職員が入居者本位の支援が出来るよう、「人の気持ちを尊重する心」「礼儀を重んじる心を大切に」という社会人としてのあり方をOTで徹底している。

入居者がその人らしく過ごせるよう、やりたいことを伸ばせる環境作りに力を入れている。ベランダでの外気浴やプランターでの野菜作り、洗濯物干しなど自分のやりたいことが自然にたくなるように配慮されていた。

経営管理、労務管理などきちんと実施しており、職員に働きやすい環境を提供することがサービスの質の向上に繋がり、入居者への介護に反映されている。各種書類が整備され、記述内容も入居者の様子や心理面が細かく記載されており、ケアの質の向上に繋がっている。

佐藤内科、高橋クリニックなどの協力医療機関があり、緊急時には24時間体制で対応できる。医療との連携の良さは家族にとって安心である。

**特に改善の余地があると思われる点(記述)**

開設間もないため、地域全体への認知度がまだ低い。ボランティア研修の受入れなど積極的に行なう予定であり、早くホームの存在と機能を地域に浸透させることを期待する。

避難通路の確保が出来ており、職員らの避難訓練は出来ているが、より安全性を高めるため、入居者も含めた避難訓練の実践を提案する。

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にしたい整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	<p><b>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)</b></p> <p>過去の生活歴や楽しみとなっていたことの経験に目を向け、個人を尊重しながら集団の中で役割がもてるように支援し、入居者が円滑な集団生活ができる様に配慮している。</p> <p>管理者・職員は、入居者本人の趣味や生活習慣の出来ることに目を向け、やりたいことや要求を引き出すよう、日頃から働きかけている。そのことはケア方針、介護計画から確認できた。また、その人の今考えていることを否定せず、心を癒し生活に満足できるように支援されていることが、日々の記録から汲み取れた。</p> <p>個人情報に関する書類などファイリングが徹底され、重要文書は施設管理するなど情報保護に努めている。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	<p><b>サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)</b></p> <p>経営者の理念が、管理者を初めとして職員全体に行き渡るよう、積極的な情報交換、会話が常に行なわれ、サービスの質の向上に取り組んでいる。ターミナルケアについても、家族が望まれるなら最後までその人らしさを大切にしたい介護をしていきたいとの姿勢であった。</p> <p>開設者、管理者、職員共に積極的に勉強会の開催や研修会への参加を心がけており、職員一人ひとりが、介護の知識、技術の向上のための意欲を持っている。</p> <p>現状に満足することなく、管理者が中心となって苦情処理窓口を入居者の家族に紹介している。何かあった場合、苦情発生・対応報告書、苦情対応経過届を作成し、対応していく体制が出来ている。</p> <p>事故などは発生していないが、「ヒヤリハット」やってしまったシート”事故報告書”を作成し、トラブル発生時などの経過記録と周知徹底を確実にしている。今後”繰り返さない”という姿勢で業務に臨み、問題発生防止につなげている。</p>		